



# 第5回デジタル化推進検討懇談会

2023年03月28日 10時～12時  
佐渡市役所本庁 3階大会議室



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
  - 1) 「佐渡市デジタル化構想（素案）」の策定について
    - ① 第3回懇談会の振り返り
    - ② 「佐渡市デジタル化構想（素案）」の内容について
  - 2) その他
    - ① 令和5年度の懇談会について
    - ② 令和5年度の主な事業について
- 4 CIOあいさつ
- 5 閉会



## 2 座長あいさつ



### 3 議事

- 1) 「佐渡市デジタル化構想（素案）」の策定について
  - ① 第3回懇談会の振り返り

中心テーマを  
設けました

# 基本目標 1 <トキの舞う美しい島> 課題体系

**データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり [防災・防犯・生活・環境]**

## 施策（課題） 施策の展開

1. 防災・減災機能の強化	1. 防災意識の向上と防災教育の推進 2. 自主防災組織の育成 3. 緊急情報伝達システムの構築
2. 消防・救急体制の充実	1. 消防体制の整備 2. 緊急体制の充実
3. 交通安全・防犯対策の推進	1. 交通事故防止 2. 安全安心なまちづくり
4. 交通体系の充実	1. まちづくりと連携した地域交通ネットワークの構築 2. 交流人口拡大に向けた交通体系の充実 3. 公共交通のサービスレベルの向上
5. 道路施設等の準備	1. 安全安心な市道整備 2. 道路橋梁の長寿命化 3. 道路等の適正管理
6. 上水道施設の整備	1. 災害に強い水道システムの構築 2. 効率的な水道経営の推進
7. 下水道施設の整備	1. 自然環境の保全に向けた下水道接続等の推進 2. 安定した下水道経営と施設の維持管理 3. 災害に備えた体制整備
8. 都市計画の推進	1. 都市計画・景観・公園の充実 2. 都市再生整備事業（相川地区）の推進 3. 住環境の向上
9. 自然環境の保全	1. 豊かな自然環境の保全と活用 2. トキと共生の実現 3. 佐渡の環境を考え実行できる環境市民の育成
10. 脱炭素・持続可能社会の推進	1. 再生可能エネルギーの導入促進 2. 省エネルギーの普及促進
11. 生活環境の整備	1. 発生抑制・再使用の推進によるごみの減量 2. 意識啓発の推進

## デジタルでできたらいいことのアイディア

避難アシスト 避難場所まで連れて行ってくれる	みんなで作る防災情報	避難アシスト
避難支援の高度化 ex. アプリ作成、タブレット配布（使い方教える）	目安箱マップ（地域の防災情報の収集）あぶないところ洗い出し	避難支援の高度化
災害情報プラットフォーム	災害シミュレーション	避難アシストシステム
危険体験VR	シェアストーリー（Twitter?）で声をひろいあげ	VR災害シミュレーション 避難経路の可視化
	人が来たら光る街灯	見守り自販機
ラストワンマイルドローン	再送シェアリング	緊急サプライチェーン
トキ型ドローン宅配システム		
空き家空き地DB化・AI整理	自動車走行車インフラ点検マップ	AIによるごみの自動分別
動画を使ったノウハウ伝達	デジタル施策の総合ページの作成（プラットフォーム的）	自宅で工事
成長する地図	エンジニアネットワーク（農業、製造業、水産業、大学...）	リモート開発
未来素材レコメンド 自然分解素材 オーダーメイドでつくれる	現場とデータ共有 → 説得力のある見える化システム	つまりフォンで相手に合った教育 いつでもどこでもできるシステム
AIチャットボットによる移住相談		
AIサポートドクター	町内SNS	統一されたポイントシステム
世代に合わせたメール（SNS）配信で情報を伝える	あなたが得るべき情報をいろんなツールで提供できますシステム	人脈マップ 知りたい情報をどこに行けば取れるかを教えてくれる
どこでもレッスン 知りたい情報をいろんな媒体を通じて知ることができる	地域コミュニティの衰退	シェアストーリー（Twitter?）で声をひろいあげ
島内一次産業企業のエネルギー利用受給供給システム	スマートエネルギーによる島内でのエネルギー需給管理による効率化	電気自動車のエネルギーシェア

## 1/31懇談会時点

みんなでつくる・つながる、誰も取り残さない災害対応 1
情報を駆使した救急医療サービスの高度化 2
誰でも安全で快適なモビリティサービス 3・4
グリーンで最適なインフラの実現 4・5・6・7・8・9
ネイチャーポジティブな自然資源マネジメント 9・10
エネルギー循環の仕組み 10
暮らしの快適性の向上 11

災害時の災害時の消防・救急体制の意を込めました

救急現場のみではなく、関連組織含めた情報活用で救急医療の高度化に繋がるため、基本目標1では削除し、基本目標2で救急を含めました。

統一しました

## デジタル活用で実現したい未来のイメージ

みんなでつくる・つながる、誰も取り残さない災害対応 1・2
誰でも安全で快適なモビリティサービス 3・4
グリーンで最適なインフラの実現 4・5・6・7・8・9
ネイチャーポジティブな自然資源マネジメント 9・10・11
エネルギー循環の仕組み 10

# 基本目標 2 <笑顔と長寿の明るい島> 課題体系

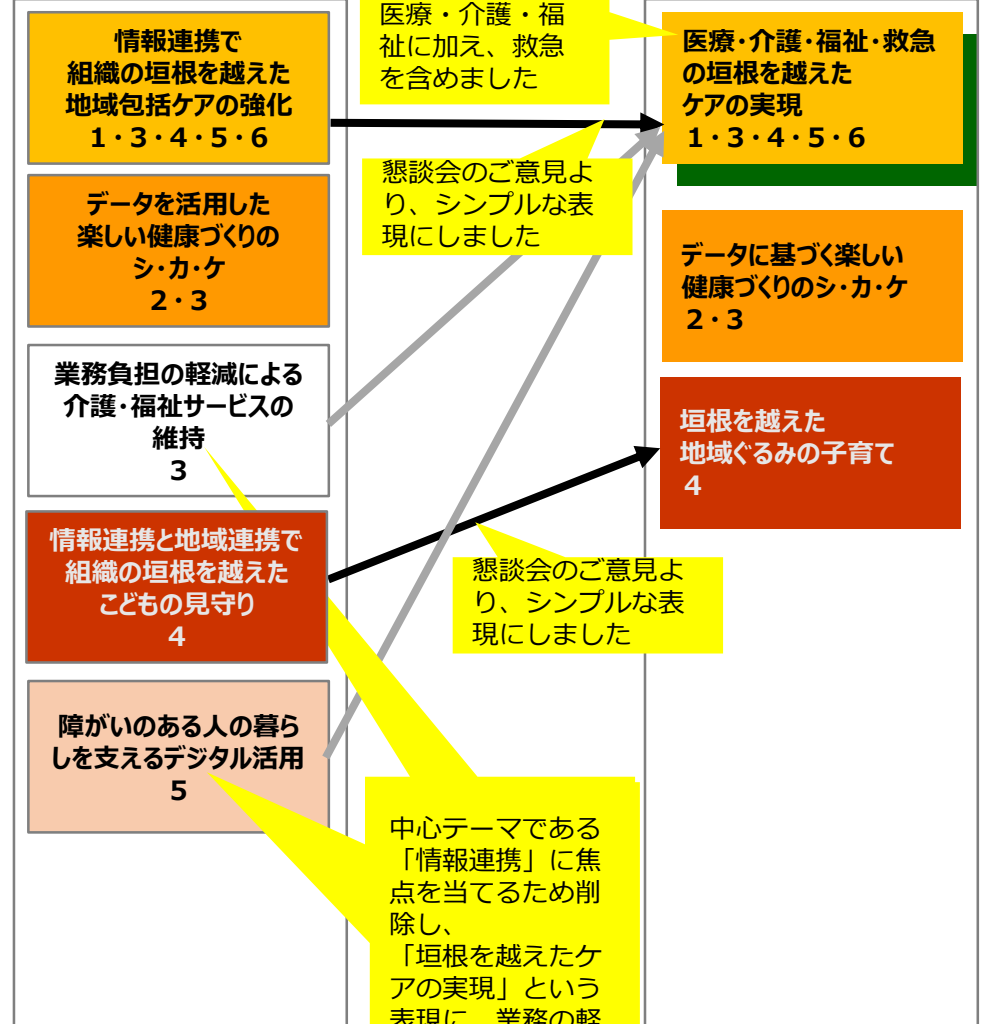
## 組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍いきいきと暮らせるまちづくり [医療・介護・福祉]

施策（課題）	施策の展開
1. 地域医療の充実	1. 医療体制の維持・連携推進 2. 医療従事者確保対策の推進 3. へき地医療の維持
2. 健康づくりの推進	1. 市民協働の取組 2. SIZESの取組 3. 生活習慣病重症化予防
3. 高齢者福祉・介護の充実	1. 健康づくりと介護予防の推進 2. 高齢者の生きがいある暮らしの推進 3. 医療・介護・福祉が一体的に提供されている地域包括ケアシステムの推進
4. 子育て支援の充実	1. 地域における子育て支援サービスの充実 2. 子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実 3. 配慮を必要とする子ども・家庭への支援
5. 障がい者福祉の充実	1. 就労支援への取組の強化 2. 障がいのある人と共に暮らす共生社会の実現 3. 障がい者が安心して生活できる仕組みづくり
6. 地域福祉の充実	1. 福祉教育の充実 2. 支え合い意識の高揚・相談支援の充実 3. 誰もが集える場所・機会づくり

### デジタルでできたらいいことのアイデア

リモート医療	スペシャルナビ	チャットによる自動応答
どこでも医療	夜勤ロボ ↓ 介護現場の負担減	人の行動に合わせた輸配送
病院窓口 コンシェルジュ	レジなし ショッピング お薬配送	遠い未来 どこでもレッスン 医師同士が遠隔で 情報共有 専門医の講義 受けられる
手ぶらで買い物 電子決済	生協、農協、ヤマトで運行情報 シェアしながらお薬配達逆 にプッシュ	リモート診察
ワンストップ窓口（処方箋から 配達）	どこでも診療	AIサポートドクター 医師のサポート
訪問前アドバイザー ↓ 個別訪問	秘密データの 自動仕分け	運行予測 による効率化 街の中で スキルシェア ↓ 相互扶助
スパコンで 薬を創る	ワンストップ 窓口で手続きが簡単に	歩いてためる ↓ 健康づくり 今日の日付 自動応答タブレット（アレク サ？） ↓ 子供・親の表情から気持ち天 気予報 ↓ 虐待などリスク通知 （+みまもり）
リモート診察	VRで昔を体験できる 介護施設	医療データ活用コンソーシ アム
未病医療	相談センター ↓ チャットによる自動応答 どこでもレッスン ↓ 不登校、ひきこもり	地域クラウド ファンディング （公園）
VRで昔を体験できる 介護施設	ノウハウの マニュアル化	成長する地図
リモート診療	建設物入館者心拍建物点 検マップ	

### 1/31懇談会



メモ

計画策定に当たっては、「データに基づく楽しい健康づくりのシ・カ・ケ」では総合計画基本目標3「スポーツの推進」「生涯学習の推進」と連携して検討する。

時間的・空間的制約を越え

# 基本目標③ <文化の薫るおけさの島> 課題体系

## 時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり [教育・文化]

シンプルな表現にしました

施策 施策の展開

1. 子ども教育の推進	1. 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 2. 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 3. 家庭・地域の教育力の充実
2. スポーツの推進	1. 「育てる」スポーツの推進 2. 「健康」スポーツの推進 3. 「支える」スポーツの推進
3. 学校教育環境の整備	1. 安全・安心な学校づくり 2. 学校施設の維持管理 3. 高等教育・研究機関等との連携強化
4. 生涯学習の推進	1. 安全・安心な学校づくり 2. 学校施設の維持管理 3. 高等教育・研究機関等との連携強化
5. 文化振興の推進	1. 世界遺産等の地域資源の保存と活用 2. 郷土愛の醸成と担い手の育成 3. 博物館事業の推進

### デジタルでできたらいいことのアイディア

地域のじいちゃんを特別講師に！！	地域資源を活用した学習機会の提供や普及啓発活動	ネットワークの整備
島内公立高校学生寮の整備	子どものデータをみんなでつなぎ合わせて助けが必要なこともをフォロー	ICT教育研修会
権利についての授業をする	PCをさわせる	教育人材のデータベース化（教員だけでなくいいよ！）
ママ・パパ Zoom飲み会 + たまにリアル会	島外・海外の同世代との合同授業	佐渡出身者のネットワークづくり
市役所24時間100カメラ番組	キャリア教育 ランドデザイン 地域体験活動 職場体験	施設整備
——ホストファミリー——		
特色ある教育のための施設整備		
鬼太鼓イベントマップ見える化	地区の祭りに合わせたポイント施策など	地域資源の保存と活用
東京での佐渡のイベントを佐渡出身者に伝える		

### 1/31懇談会

- 世代を越えた相互教育 1・2・3
- いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも、学び合う空間づくり -何歳からでも輝ける- 1・2・3・4
- 一人ひとりの個性を生かした教育
- 文化・遺産のアーカイブと新たな価値創出 5

統一しました

懇談会のご意見より「多様性」のニュアンスを含めた表現にしました

懇談会のご意見より、デジタル活用による文化振興の出口は「コミュニティ形成（島内外）」とし、表現を変更しました。

### デジタル活用で実現したい未来のイメージ

- いつでも・どこでも・いつまでも世代を越えた学び合い -何歳からでも輝ける- 1・4
- 一人ひとりの個性を伸ばす教育ダイバーシティ 1・3・4
- 距離と時間を越えた文化継承で育むコミュニティ 5

# 基本目標 4 <働く汗の光る島> 課題体系

## 情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり【産業振興・雇用】

### 施策（課題） 施策の展開

1. 農業の振興	1. 地域の実情に応じた営農体制の確立 2. 地域の農業を担う多様な担い手の確保 3. 生物多様性の保全と里山の振興
2. 林業の振興	1. 林業の効率化促進 2. 森林の多面的機能の保全 3. 佐渡産木材の利用促進
3. 水産業の振興	1. 育てる漁業の推進 2. ブランド力と販売力の強化 3. 漁業の担い手の確保
4. 商工業の振興	1. 円滑な事業継承と経営の安定化 2. 企業ブランド力の向上 3. 人材の育成
5. 観光の振興	1. 観光旅行者の満足度向上に係る環境基盤整備 2. 消費額向上に係る滞在型観光促進 3. 戦略的情報発信
6. 産業連携・販売戦略の推進	1. 高付加価値化及び販路の開拓・販売拡大の推進 2. 島内産業の振興に伴う島内循環の促進 3. 「佐渡」の特徴を活かした佐渡産品のブランド化の推進
7. 雇用機会・就労環境の充実	1. 新たな産業の創出 2. 人材の確保及び育成支援 3. 働き方改革の推進
8. 移住定住の促進	1. Uターン者の受入れ促進 2. 空き家活用による定住人口の拡大 3. 企業誘致による多様な人材と企業が活躍できる仕組みづくり

### デジタルでできたらいいことのアイディア

イケメンチェンジボイスでふるさと納税リコメンド	会話内容からマーケティング↓商品開発・ブランド化に	観光どこでもカーシェア
作業業務の見える化	働き方の見える化	自動応答、仕事の効率化ホワイトに
作業実態の可視化、アウトソーシング切り出し副業化	ぴったり職場マッチング	人脈マップ
シェアオフィス、他拠点施設の使用許可	どこでもレッスン+つまりフォン	いつまでも現役ワーク
場所を選ばない働き方	ドラフト医療、副業人材	ローカルマッチング
人財シェアバンク		
多拠点リモートコントロールで養殖や農業を行う	設備の遠隔制御	衛星による生産出荷予測
デマンドで自家用無償輸送（まずは）	配送シェア	農業協働お土産バック
ロボットによる山林整備	一次産業、作業内容をスマホで記録、経営改善をビジネスマンへ副委託	先取ニーズ予測
どこでも農業企業進出	サプライチェーンの見える化、食・農のデジタル、農業市場の消費管理	農作業の匠の技伝承
ドローン配送による小口物流強化		
島内企業間データ連携で世界へ	佐渡に住むことに対して適しているかデータ化（定着率）	島内でジョイント企業を作る
AIによる分身の作成	自宅で工事	

### 1/31懇談会

デジタルマーケティングによるシティプロモーション・関係人口拡大 5・6・8
ワークスタイルを多様化させる「さどぐらし」 7
スタートアップと地場企業のコラボレーションで産業振興にシナジーを 4・6・7
農林水産業のサプライチェーン変革と技術継承 1・2・3
キャッシュレスの普及と地域経済の活性化

懇談会のご意見より、デジタル活用との直接的な関係がないことから削除しました

様々な産業とのコラボが期待されることから該当施策を増やしました

懇談会のご意見より表現を変更しました

### デジタル活用で実現したい未来のイメージ

データでつなげる・とどけるシティプロモーションで佐渡ファンの拡大 5・6・8
スタートアップと地場企業のコラボレーションで産業振興にシナジーを 1・2・3・4・5・6・7
ニーズに合わせた地場産品の高付加価値化とサプライチェーンの構築 1・2・3・4・6
みんなが使えるキャッシュレスで島内経済循環し活性化 5・6



# 基本目標5 <人情と優しさのあふれる島> 課題体系

## デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり [市民活動・行政活動]

施策（課題） 施策の展開

1. 市民参画と協働による地域づくりの推進	1. 地域づくりの拠点化 2. 外部人材の活用 3. 地域コミュニティ活動の推進
2. 人権の尊重	1. 分野別人権施策の推進 2. 人権教育・啓発の取組
3. 男女共同参画の推進	1. あらゆる分野における男女平等意識の浸透 2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 3. あらゆる政策・方針決定の場への女性参画の推進
4. 広報・広聴活動の推進	1. 多様な情報媒体を活用した広報活動 2. 市民の意見や要望を市政に反映させるための広聴活動
5. 行政運営・財政運営の推進	1. 行政改革の推進 2. 持続可能な財政運営

### デジタルでできたらいいことのアイデア

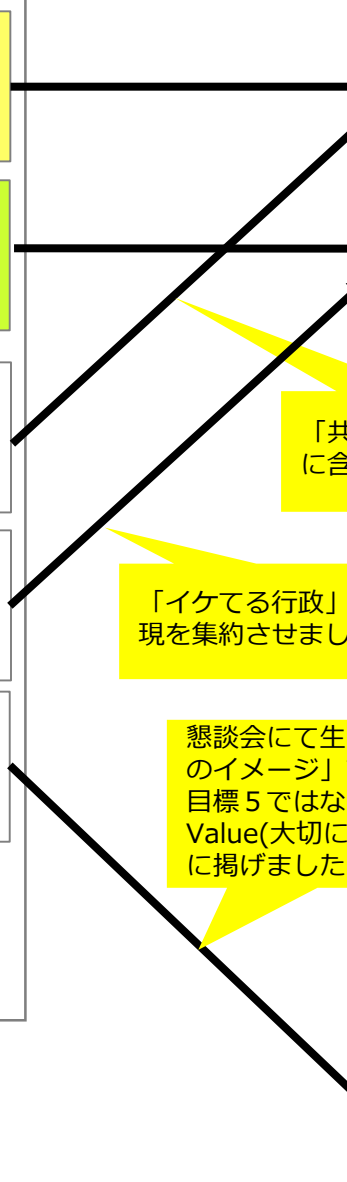
人脈マップ	熟練ノウハウのマニュアル化	ローカルマッチング
街の中のスキルシェア、人材バンク	アイデア発想空間	ワンストップ、顔認識（本人確認）、窓口サービス
バーチャルデスク（住所ごとに）	夜勤ロボ	レコーディング ネックレス
相手に合わせたメール配信（申請書）	クレーム仲介ロボ	カード類の統一 マイナンバーカード
出る杭と信、採用にも活用 人材バランス	鉱脈発券システム ゴールドマイニング メタバース？	社内SNS
市民ニーズで 窓口サービスをサドTVデータ 放送で	マイナンバー、やりたいこと+ サービス	相手に合わせたメール配信
島内ポイントキャッシュレスの 一元化	ドキュメント共同リモートワーク	おもてなし情報配信 LINEでセグメント配信 集落別情報の配信
ワンストップ窓口	ドキュメントの共同編集、 SNS発信	行政ワンストップ窓口、使えない人は窓口に来るそこを便利に 本庁を便利に
施策ごとに別々のアプリをつくらない	手ぶらで本人確認	チャットボット
チームエンゲージ、 出る杭課		

### 1/31懇談会

より良い佐渡を 市民協働で創るための 空間づくり 1・2・3
イケてる行政 ～便利で身近で時代に 即した頼れるサービス～ 4・5
情報交流の活性化により 距離感が縮まる
データにもとづく政策で 行政サービスの効率化
デジタルモラルが醸成した 地域社会の実現

### デジタル活用で 実現したい未来のイメージ

より良い佐渡を みんなで創るための 共創的コミュニティの実現 1・2・3
イケてる行政 ～便利で身近で時代に 即した頼れる市役所～ 4・5
デジタルモラルが醸成した 地域社会の実現 (全体)





### 3 議事

- 1) 「佐渡市デジタル化構想（素案）」の策定について
  - ② 「佐渡市デジタル化構想（素案）」の内容について



# 佐渡市デジタル化構想（素案）

第0.9版

令和5年3月28日

佐渡市 デジタル政策室



- 1章：はじめに
  - 今、なぜデジタルが求められているのか
  - 佐渡市におけるデジタル技術の活用にあたって
  - 佐渡市の特性
  - まちづくりのビジョン
  - 佐渡市デジタル化構想・計画策定の背景・目的
  - 佐渡市デジタル化構想・計画の位置づけ
  - 佐渡市デジタル化構想の策定方針
- 2章：デジタル活用の推進方針
  - 実現したいこと（VISION）、取り組まなければならないこと（MISSION）、大切にしたいこと（VALUE）
  - デジタル活用により取り組まなければならないこと
  - 基本目標1：データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり
  - 基本目標2：組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり
  - 基本目標3：時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり
  - 基本目標4：情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり
  - 基本目標5：デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり
- 3章：デジタル活用施策
  - デジタル活用施策体系図
  - くらし、産業・おもてなし、庁内のデジタル化との関係
- 4章：デジタル活用推進体制
  - デジタル活用推進体制
  - 佐渡市デジタル化推進検討懇談会
  - デジタル人材の育成の考え方



# 1章：はじめに

# 今、なぜデジタルが求められているのか ～地方創生×デジタルの必要性～



現在、日本の人口は、2008（平成20）年をピークに減少しており、2050（令和32）年には、2008年比約80%である1億192万人になるとの推計があります。

## 供給が需要に合わせる経済へ

人口増加の局面では『需要が供給に合わせる』経済が成り立っていましたが、人口減少の局面では『供給が需要に合わせる』経済が必要になってきます。例えば、これまでは『バス停に来るバスを待つ』といったことが、『バスが顧客の都合に合わせて動く』ことになります。

このようなことを実現するためには、需要と供給をリアルタイムで把握し、供給側の意思決定の確認を待たずに先にものやサービスを動かすような、デジタル基盤が必要になってきます。

## ものづくり中心の経済からサービス中心の経済へ

人口増加期には、拡大する国内市場を前提に、製造業を中心とした長いサプライチェーンに依存する『ものづくり中心の経済』を形成してきました。

しかし、人口減少期では、シェアードエコノミーなども積極的に活用したサービス重視の経済（サーキュラーエコノミー）への移行が必要になってきます。

進まない製造業の立地とサービス業の生産性低迷に悩む地域経済においても、デジタル技術を活用し、共助のビジネスモデルなどを積極的に活用した新たな生活経済モデルを、積極的に構築していくことが必要になってきます。

## 共助のビジネスモデルの必要性

市場の拡大期は、民間事業者が個別にデジタル投資を行っても投資回収ができましたが、市場の縮小期は、個別にデジタル投資を行うと投資回収できない恐れがあります。

しかし、特定の民間事業者が利用するデータ連携基盤などには、公的部門は支援を入れにくい傾向にあるため、民間事業者は、こうした基盤への投資を進めるためには共同で投資することが必要となります。

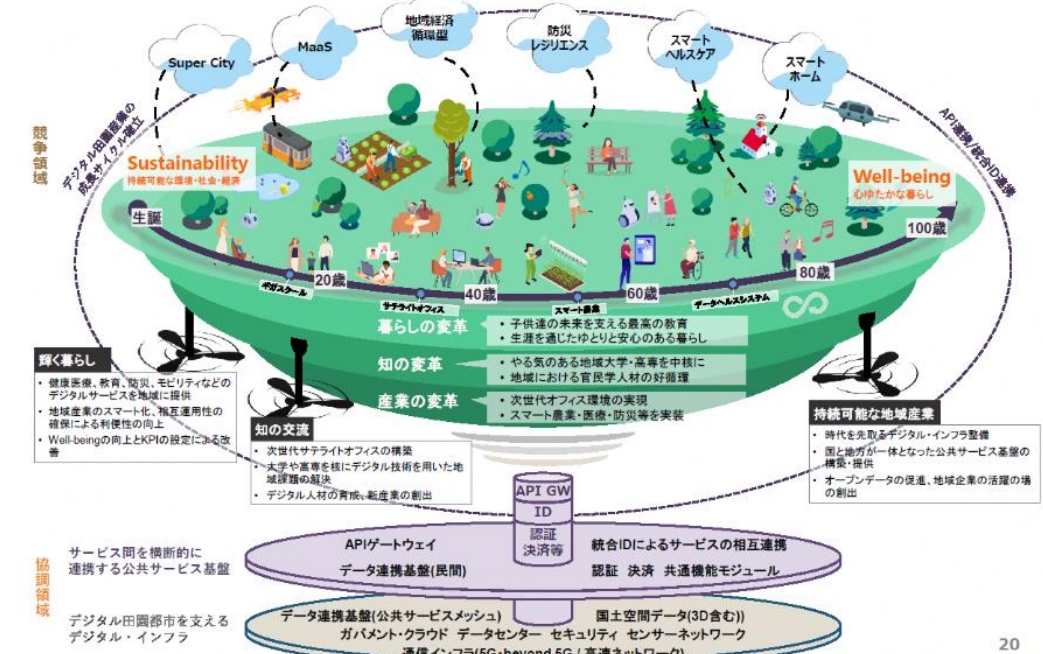
## 共助が支える新たなデジタル生活基盤とまちづくり

多様な生活ニーズや価値観に寄り添うサービスをデジタル技術によって磨いていくためには、複数のサービスが積極的に協力し支え合う、共助のビジネスモデルを土台としたデジタル生活基盤の再構築が必要となります。

共助のデジタル生活基盤を構築した上で、それを土台とした新たな生活サービスの創出と、積極的な市民参画による街の中での繋がりの強化による、Well-Beingの向上に向けたまちづくりの好循環を生み出すことが必要となります。

佐渡市においても、今後、人口減少が進むことが予想され、市民・民間事業者・行政が連携しデジタル活用による地方創生に取り組むことが必要となります。

## デジタル田園都市国家構想の取組イメージ



# 佐渡市におけるデジタル技術の活用にあたって



佐渡市においては、デジタイゼーション、デジタルライゼーション、デジタルトランスフォーメーションを問わず、ビジョン実現のためのデジタル技術の活用を図ります。

## デジタイゼーション

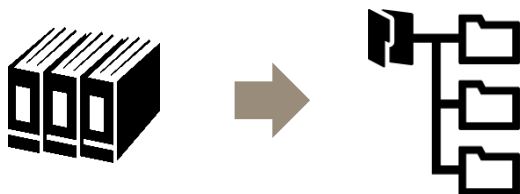
(Digitization)

アナログ・物理データのデジタルデータ化

- ・アナログ情報をデジタル情報に変換
- ・部分的なデジタル化

ITシステムの導入により業務をデジタル化し、業務フローを部分的・局所的にデジタル化すること。

業務効率化の実現が主な目的であり、これまで紙で行ってきた業務をデジタル化すること等がある。



## デジタルライゼーション

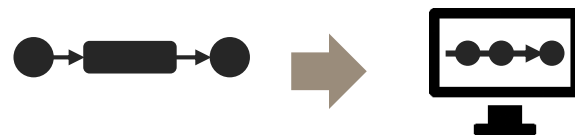
(Digitalization)

個別の業務・製造プロセスのデジタル化

- ・システムにより業務プロセスを最適化
- ・業務全体のデジタル化

システムにより特定の業務・製造プロセスをデジタル化し、プロセス全体を最適化すること。

プロセス全体を通してデジタル化することで、新たな価値やビジネスモデルを生み出すことが目的となる。



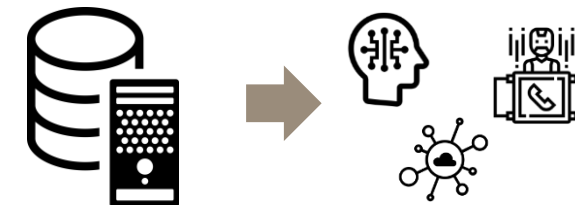
## デジタルトランスフォーメーション

(Digital Transformation)

組織横断/全体業務・製造プロセスのデジタル化、顧客起点の価値創出のための事業やビジネスモデルの変革

個別の業務・製造プロセスだけでなく、組織全体をデジタル化することで、ビジネスモデルや組織そのものを変革させていくこと。

デジタル技術でビジネスモデルや組織のあり方そのものを変革することが目的となる。



※引用：経済産業省DXレポート2中間取りまとめ（概要） <<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201228004/20201228004-3.pdf>>



## 位置・地形

本市は新潟県のほぼ中央の日本海上に位置する、域面積約855km<sup>2</sup>、人口5万642人（2022（令和4）年12月末現在）の離島の都市です。

北側の大佐渡山地と南側の小佐渡丘陵の二列の山地と、これに挟まれた国中平野により形成されており、東には両津湾、西には真野湾があります。大佐渡、小佐渡を通じて数段に及ぶ海岸段丘が発達しており、島を取り巻く海岸線は約280kmに及びます。

島の大部分が国定公園や県立自然公園に指定されており、豊かで美しい自然環境に恵まれています。

## 文化

本市の文化は、佐渡に配流となった貴族がもたらした貴族文化や、金銀山の発展により奉行や役人たちが江戸からもちこんだ武家文化、商人や船乗りが運んだ町人文化など、三つの文化が渾然一体となって独自の文化を育てており、「佐渡は日本の縮図」といわれています。また、特別天然記念物に指定されたトキが野生下で繁殖し生息するなど、トキと共生する島として知られているほか、江戸時代には国内随一の産出量を誇る金銀の採掘地として栄え、現在も多くの文化財が残されています。

2022（令和4）年5月には、こうした文化的背景を含め、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、「SDGs未来都市」に選定されています。

## 産業

本市の産業は、農業では、トキとの共生を目指し、生物多様性保全を重視した「生きものを育む農法」による米作りのほか、おけさ柿やルレクチ工などの果樹栽培、アスパラガスなどの園芸栽培が盛んです。漁業では、脂がのった一番美味しい時期に水揚げされる寒ブリや、清浄で栄養豊富な深海に生息する南蛮海老やズワイガニなど、日本海を代表する魚介類が漁獲されています。また、観光では、世界文化遺産に推薦された「佐渡島の金山」をはじめ、世界農業遺産（GIAHS）、日本ジオパークに認定された自然、歴史、文化などの多様な地域資源を活用した滞在型観光を推進しています。

## 人口動態（2030年の人口予測）

	国勢調査					推計人口	
	2000（平成12）年	2005（平成17）年	2010（平成22）年	2015（平成27）年	2020（令和2）年	2025（令和7）年	2030（令和12）年
国勢調査人口	72,173人	67,386人	62,727人	57,255人	51,492人	46,870人	42,054人
対前増減数	▲2,776人	▲4,787人	▲4,659人	▲5,472人	▲5,763人	▲4,622人	▲4,816人
対前増減率	▲3.70%	▲6.63%	▲6.91%	▲8.72%	▲10.07%	▲8.98%	▲10.28%





本市では、2022（令和4）年度からスタートする新たな「佐渡市総合計画」を策定しています。  
佐渡市総合計画は、将来あるべき佐渡の姿と長期的な展望を市民と共有し、総合的かつ計画的な市政運営を図るための最上位計画です。

この「佐渡市総合計画」をまちづくりのビジョンと捉え、デジタル技術を活用した構想を策定します。

## 基本理念

歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島  
～子どもからお年寄りまで 誰もがいきいきと輝ける島～

## 将来像

トキの舞う美しい島

笑顔と長寿の明るい島

人情と優しさのあふれる島

文化の薫るおけさの島

働く汗の光る島

## 基本目標

- 1：豊かな自然と共生した、安全で快適なまちづくり
- 2：一人ひとりが活躍し、いきいきと暮らせるまちづくり
- 3：郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり
- 4：地域の活力と賑わいあふれるまちづくり
- 5：心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

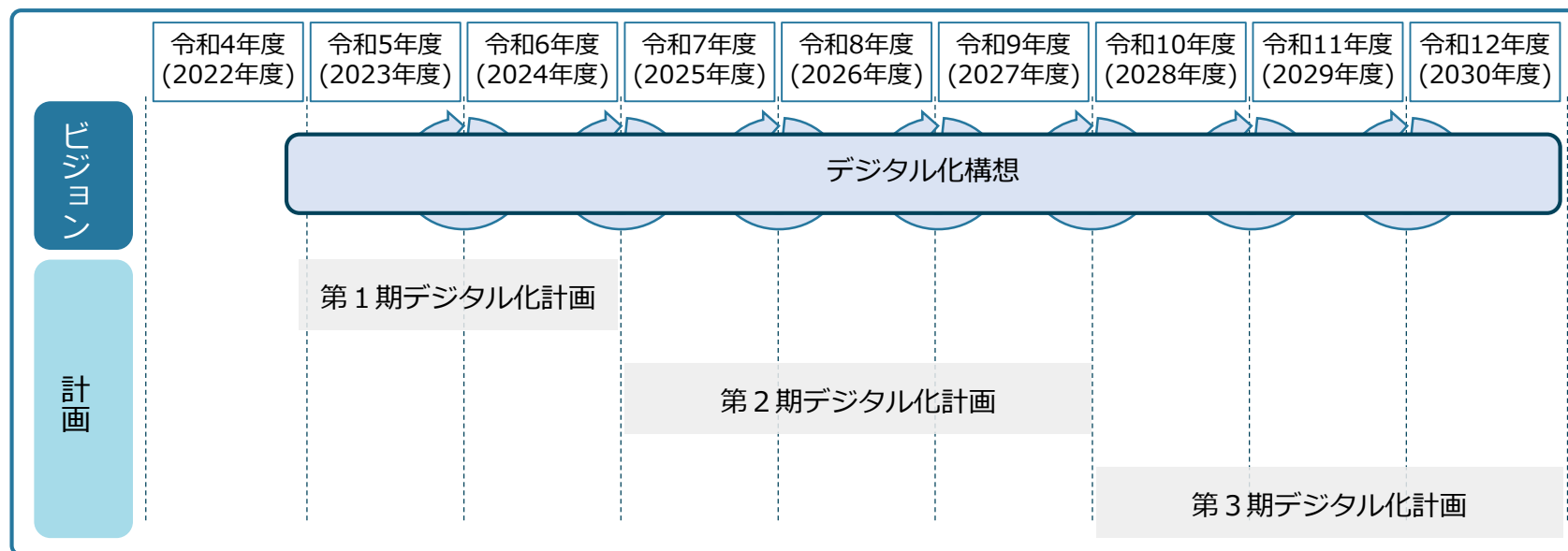
# 佐渡市デジタル化構想・計画策定の背景・目的



まちづくりのビジョンの実現に向け、「佐渡市総合計画」に掲げる施策の実現に貢献するための手段として、また、総務省が示す自治体DX推進計画に掲げられている重点取組事項※1等の実行に貢献するための基本的方針を示す「佐渡市デジタル化構想・計画」を策定します。

中長期的な視点により、佐渡市が目指すデジタル技術活用社会を明確化し、市民と共有するための構想及び計画とします。また、デジタル技術の活用や社会実装に向けてコラボレーションすべき関係者や適応技術を考えるための指針になるものとしてします。

なお、今回策定するデジタル化構想・計画については、地域課題の動向や日々進化するデジタル関連技術の動向を踏まえ、必要に応じて見直ししながら更新を図るものとしてします。



- ※1：自治体DX推進計画に掲げられている重点取組事項
- (1) 自治体情報システムの標準化・共通化
  - (2) マイナンバーカードの普及促進
  - (3) 自治体行政手続きのオンライン化
  - (4) 自治体のAI・RPAの利用促進
  - (5) テレワークの推進
  - (6) セキュリティ対策の徹底

# 佐渡市デジタル化構想・計画の位置づけ



「佐渡市総合計画」をもとに、佐渡市デジタル化構想・計画を策定します。  
また、「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定版となる「改定佐渡版総合戦略（仮称）」における地域ビジョンを兼ねるものとしします。

## 佐渡市総合計画

佐渡市が目指すまちづくりの基本理念と将来像、基本目標、その実現に向けた施策の大綱を明らかにし、総合的かつ計画的な市政運営を図るための指針となるもの。  
2030（令和12）年度までの基本構想と基本計画で構成。

デジタル活用で実現したい未来

## 佐渡市デジタル化構想

佐渡市総合計画に掲げる施策の実現に貢献するための「手段としてのデジタル活用」の構想を示すとともに、実行計画である「佐渡市デジタル活用計画」の指針となるもの。

アクションプラン化

## 佐渡市デジタル化計画

「佐渡市デジタル化構想」に掲げるデジタル施策の実現に貢献するための実行計画。各課が所管する実行計画のうち、デジタル活用に関する部分を具体的に計画化するもの。  
※佐渡市における自治体DX推進計画であり、国が掲げる重点項目に関する実行計画・KPIを含めるものとする。

## 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「まち・ひと・しごと創成法」に基づく国の総合戦略の地方版。  
2022（令和4）年度に国は総合戦略を抜本的に改定し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定。今後、地方は改定された国の総合戦略に基づき、地方版総合戦略を改定する。

改定

## 改定佐渡版総合戦略（仮称）

※今後策定予定

本市が抱える社会課題などを踏まえ、個性や魅力を生かした「地域ビジョン」を掲げるもの。  
国は、地域ビジョンの実現のため、必要な施策間連携を強化し、同様の課題を抱える複数の地方公共団体が連携して課題解決に取り組めるよう、デジタル活用も含めた推進策を提示。

地域ビジョンに包含

佐渡市デジタル化構想

佐渡市デジタル化計画

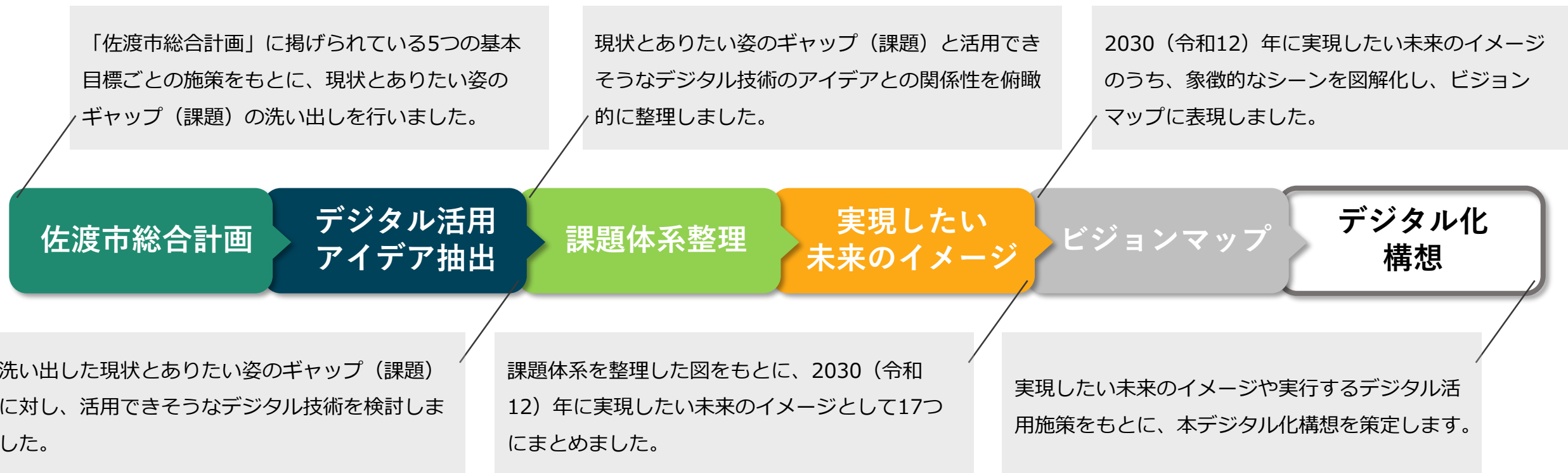
連動



# 佐渡市デジタル化構想の策定方針



「佐渡市総合計画」に掲げた施策・課題をもとに、デジタル技術の活用アイデアを抽出し、実現したい未来を描きました。また、実現したい未来のイメージを抜粋した形で、ビジュアルライゼーションしビジョンマップを作成しています。この未来のイメージからバックキャストし、2030（令和12）年のありたい姿を実現するためのデジタル活用施策を明確化しています。





## 2章：デジタル活用の推進方針

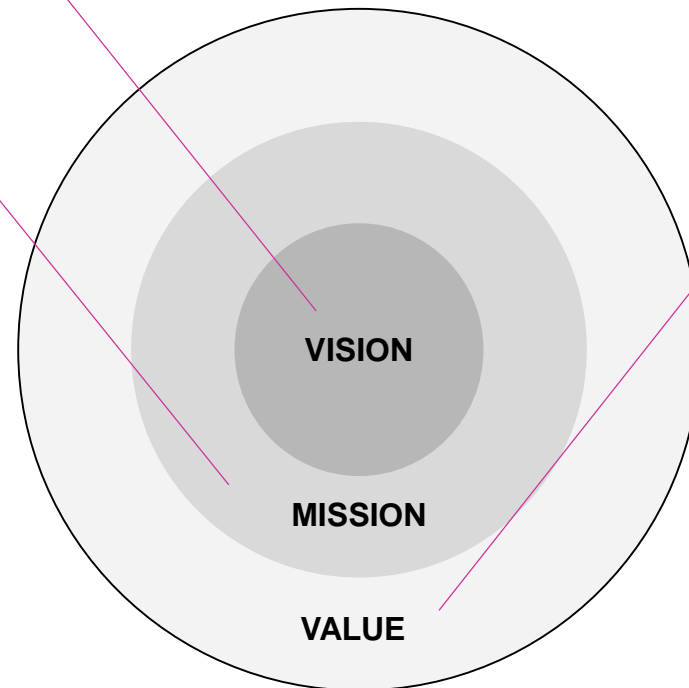
# 実現したいこと（VISION）、取り組まなければならないこと（MISSION） 大切にしたいこと（VALUE）



「佐渡市総合計画」にて、実現したい佐渡として掲げている理念を、デジタル活用におけるビジョンと捉えます。  
ビジョン実現に向けて取り組まなければならないことを、市民、民間事業者、行政とが一体となり、それぞれの役割や得意分野を生かしながら協力して挑戦します。  
大切にしたいことを関係者と共有しながら取組を進めます。

歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島  
～子どもからお年寄りまで 誰もがいきいきと輝ける島～

- データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり
- 組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり
- 時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり
- 情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり
- デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり



- 市民参加と歴史・文化・自然の尊重
- デジタルモラルの醸成で次世代が希望を持つことができる地域社会
- 新しいことにトライし、成功への過程を許容する ※ただし、ベストを尽くすこと！

# デジタル活用により取り組まなければならないこと



デジタル技術を活用することにより、「佐渡市総合計画」に掲げる各基本目標の実現に貢献します。

## 基本目標 1

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した  
安全で快適なまちづくり

佐渡の資源や自然に関するデータを集め、データを共有・活用したマネジメントを実現することで、人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

## 基本目標 2

組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍し  
いきいきと暮らせるまちづくり

健康に関するデータを連携し、異なる組織で共有・連携することでシームレスな包括ケア体制を強化し、幸せで健康に暮らせるまちづくりに貢献します。

## 基本目標 3

時間・空間の制約を越え、  
郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり

いつでも、どこでも、いつまでも、世代を越えて学び合える空間をつくり、佐渡の文化を継承する仕組みづくりに貢献します。

## 基本目標 4

情報が集まるシカケとコラボで、  
地域の活力と賑わいあふれるまちづくり

魅力ある佐渡のあらゆる資源を有効活用するために、データをつなげ、企業間・産業間をつなげ、活力とにぎわいのあふれる産業振興に貢献します。

## 基本目標 5

デジタルネットワークを活かして、  
心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

市民にとって身近な行政でありつつ、かつ、市民と市民がつながり、ともに協力し合って創る佐渡の未来にデジタル技術で貢献します。

# デジタル活用で実現したい未来のイメージ

基本目標 1 : データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり



佐渡の資源や自然に関するデータを集め、データを共有・活用したマネジメントを実現することで、人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり

1. 防災・防犯・生活・環境

## みんなで作る・つながる、誰も取り残さない災害対応

災害に関する様々な情報を集約し、欲しい情報をタイムリーに市民に届け、市民同士が情報を投稿し合うことで自助・共助の関係を作り上げ、みんなが助け合う災害に強いレジリエンスなまちづくりに貢献します。

## 誰でも安全で快適なモビリティサービス

車の運転が困難な方々にも様々な公共交通機関を利用できる新たな交通体系を確立し、交通事故を減らしながらすべての市民がアクセスできる仕組みを創ります。

## グリーンで最適なインフラの実現

自然豊かな資源を活用した水道、自然に優しい下水道、自然と調和した道路保全など、データの活用によるグリーンに配慮したアセットマネジメントを実現します。

## ネイチャーポジティブな自然資源マネジメント

生物多様性を維持していくためのデータの蓄積、評価、自然資源の保全という流れを作り上げ、脱炭素社会にも寄与する資源のマネジメントを実現します。

## エネルギー循環の仕組み

再生可能エネルギーによる発電・蓄電、マイクログリッド等を統合し、仮想的な発電所として捉え、需要予測や供給とのバランスを最適制御することで、エネルギーを滞りなく届けます。災害時の停電にも強い島を実現します。



# デジタル活用で実現したい未来のイメージ

## 基本目標 2：組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり



健康に関するデータを連携し、異なる組織で共有・連携することでシームレスな包括ケア体制を強化し、幸せで健康に暮らせるまちづくりに貢献していきます。

組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり

2. 医療・介護・福祉

### 医療・介護・福祉・救急の垣根を越えたケアの実現

オンライン診療により遠隔地でも医師の診療が受けられたり、組織の壁を越えてデータ・情報を連携することにより、地域全体で医療・介護・福祉・救急が連動する体制の実現に貢献します。

### データに基づく楽しい健康づくりのシ・カ・ケ

蓄積された健康・医療にかかわるデータの分析・活用により、健康イベントへの参加を促したり、食生活等のアドバイスをお知らせしたり、幸せ×健康（シアワセ カケル ケンコウ）する仕掛けづくりを行います。

### 垣根を越えた地域ぐるみの子育て

「子どもは地域で守る」をモットーに、様々な関係者間におけるデータの連携を実現するとともに、オンラインでの相談や地域内・地域間での相談ができる環境を構築します。



# デジタル活用で実現したい未来のイメージ

基本目標3：時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり



いつでも、どこでも、いつまでも、世代を越えて学び合える空間をつくり、佐渡の文化を継承する仕組みづくりに貢献します。

時間・空間の制約を越え、郷土への誇りと未来への希望を育むまちづくり

3. 教育・文化

## いつでも・どこでも・いつまでも世代を越えた学び合い ～何歳からでも輝ける～

教材や授業のデジタル化、教室をバーチャルでつなぐことで学ぶ空間を作るとともに、子どもが高齢の方に身近なデジタルツールの使い方を教える、高齢の方が子どもにデジタルを使って歴史や文化を教える場を作ります。

## 一人ひとりの個性を伸ばす教育ダイバーシティ

離島でありながら、すべての子どもにあらゆる選択ができるように、日本中・世界中とつなげ、学校で習うこと以外のスポーツや文化についても学ぶ機会・場を創出します。

## 距離と時間を越えた文化継承を育むコミュニティ

長い間引き継いできた佐渡の文化的遺産をアーカイブしながら、佐渡島内に限定することなく地理的な制約を越えて次の世代に継承していくとともに、文化財の新たな価値創出に貢献します。



# デジタル活用で実現したい未来のイメージ

## 基本目標 4 : 情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり



魅力ある佐渡のあらゆる資源を有効活用するために、データをつなげ、企業間・産業間をつなげ、活力とにぎわいのあふれる産業振興に貢献します。

情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり

4. 産業振興・雇用

### データでつなげる・とどけるシティプロモーションで佐渡ファンの拡大

佐渡に興味のある人の行動に関わる様々なデータを蓄積し、デジタルマーケティングにより産品や観光・文化・アクティビティなどの佐渡の魅力を効果的にプロモーションすることで、関係人口の増大を図ります。

### スタートアップと地場企業のコラボレーションで産業振興にシナジーを

佐渡で起業するスタートアップと、佐渡の資源を強みとする地場産業とがデジタルテクノロジーの活用により連携することで相乗効果を図り、産業振興を図ります。

### ニーズに合わせた地場産品の高付加価値化とサプライチェーンの構築

欲しい人に欲しいものが届けられる・ダイレクトにつながるサプライチェーンを構築し、佐渡の産品の高付加価値化をもたらし、稼げる農林水産業を実現することで、担い手不足の解消を図ります。

### みんなが使えるキャッシュレスで島内経済循環活性化

地域ポイントやプレミアム商品券などに加え、健康づくりやボランティア活動への参加ポイントも統合し、みんなが使えるキャッシュレス決済サービスを浸透させることで、あらゆる場面での利用促進により島内の経済循環を図ります。



# デジタル活用で実現したい未来のイメージ

基本目標 5 : デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり

市民にとって身近な行政でありながら、市民と市民がつながり、ともに協力し合って創る佐渡の未来にデジタル技術で貢献します。

デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るい暮らしを未来に繋げるまちづくり 5. 市民活動・行政活動

## より良い佐渡をみんなで創るための共創的コミュニティの実現

市民が積極的に参画し、佐渡市の未来のために一緒につくる共創的コミュニティをデジタル技術を活用しながら実現するとともに、地域内での交流や集落交流を活性化します。

## イケてる行政 ～便利で身近で時代に即した頼れる市役所～

デジタル技術を駆使し、庁内事務業務の効率化・高度化を実現し、行政サービスの質の向上を図ります。遠隔での行政手続きや移動型市役所等も浸透させることで、コンパクトでありながら市民に身近な行政であり続けます。

# デジタル技術を取り入れた佐渡市が目指す未来のありたい姿



デジタル技術を取り入れ、2030（令和12）年に佐渡市が目指す未来のありたい姿をビジュアルライゼーションするため、ビジョンマップとして作成しました。

実現したい未来のイメージのうち、象徴的なデジタル活用シーンを描いています。

市民、民間事業者、行政が、共通のイメージを持ち、連携して取り組むことを目的としています。

## 2030年、デジタル技術を取り入れた佐渡市が目指す未来のありたい姿（案）

- Vision / 実現したいこと
- Value / 大切にしたいこと

歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島 ～子どもからお年寄りまで 誰もがいきいきと輝ける島～

- その1 市民参加と歴史文化・自然の尊重
- その2 デジタルモラルの醸成で次世代が希望を持つことができる地域社会
- その3 新しいことにトライし、成功への過程を許容する ※ただし、ベストを尽くすこと！

**データに基づくマネジメントで、豊かな自然と共生した安全で快適なまちづくり**

1. 防災・防犯・生活・福祉

- ① 一目でわかる災害予測・状況配信  
県・市の連携で島内情報を集約。被害予測をスマホで受け取り、家族や隣人で事前に声かけ。みんなが備える。これが未来のレジリエンスだ！
- ② シェアしてハッピーな助け合い交通  
叫んだら来るデマンド交通だから免許返納も安心。島民・観光客みんなでシェアする環境にも優しい交通網。
- ③ スマートエネルギー  
発電事業者は島内の電力需給のモニタリングで電力マネジメントを最適化。余った電力は蓄電してシェア。
- ④ お手軽エネルギーシェア  
未来のEV充電はポータブル蓄電池の交換で済んじゃうかも。蓄電池は様々な電気機器に対応、もはや停電のない世界が広がっている！
- ⑤ 楽ちん除草ロボット  
2030年には佐渡米全てがトキ認証米かも！減農薬栽培で増える除草作業は機械化で効率化！

**組織間の情報連携で、一人ひとりが活躍しいきいきと暮らせるまちづくり**

2. 医療・介護・福祉

- ⑥ ボイ活で健康づくり  
毎日歩いたり、地域活動に参加して心身ともに元気に年齢を重ねよう！活動でゲットした地域ポイントで温泉に入ればもっと健康に！
- ⑦ ノンストップ医療  
スマホでお家からカンタン問診。診察予約～オンライン診療～薬の配送までノンストップ！マイナ保険証や地域の仕組みで組織連携が円滑に。
- ⑧ 地域連携で見守り  
地域全体で子どもやお年寄りをサポートできるように、学校・行政・病院・民間が組織連携を円滑する仕組みをつくらう！

**デジタルネットワークを活かして、心豊かで明るいまちづくり**

5. 市民活動・行政活動

- ⑨ 次世代カイトランバン  
シェアも使いやすいタブレット等で実現する島民同士の情報交換コミュニティ。集落の垣根を越えた共創のコミュニティでより良い未来をみんなでつくる！
- ⑩ カンタン本人確認  
役所手続きのために仕事を休んでしまう！マイナンバーカードでカンタン本人確認・書類記入の面倒削減！
- ⑪ いつでもどこでも行政手続き  
自宅にいても、いつでもスマホで役所手続きが完了。みんなが普段使いできるツールで市民と行政の接点を強化！
- ⑫ 地域連携で見守り  
地域全体で子どもやお年寄りをサポートできるように、学校・行政・病院・民間が組織連携を円滑する仕組みをつくらう！

**情報が集まるシカケとコラボで、地域の活力と賑わいあふれるまちづくり**

4. 産業振興・雇用

- ⑬ バーチャル空間で佐渡産物  
バーチャル空間で旅行気分。観光中に目にした佐渡の特産品に釘付け…よし、ふるさと納税で買ってみよう！
- ⑭ 佐渡産物のロジスティクス変革  
生産者と業者間のニーズに即したマッチングで付加価値の高い取引を実現。顧客意識とのコラボで集出荷を支援。
- ⑮ 島内地域ポイントの統一  
行政から発行する地域ポイントを一元化。市民も店舗も使いやすいポイントサービスで消費喚起。エリア関係なく買い回り楽ちん。

**3. 教育・文化**

- ⑯ ヤング×シニア相互学習  
子ども・若者からはスマホの使い方も新しい技術を使い、いっちゃんばあちゃんからは歴史や文化など郷土愛を。だけでなく、社会人やシニア世代のリスニングにも！
- ⑰ 自宅で海外留学  
佐渡にいながらオンラインで自分の学びたいことを自由に学べる環境に。子どもは歴史や文化など郷土愛を。だけでなく、社会人やシニア世代のリスニングにも！
- ⑱ バーチャル「能」体験  
佐渡の文化に触れてもらうきっかけとしてバーチャル空間で文化体験。伝統文化継承の新しいカタチに挑戦！

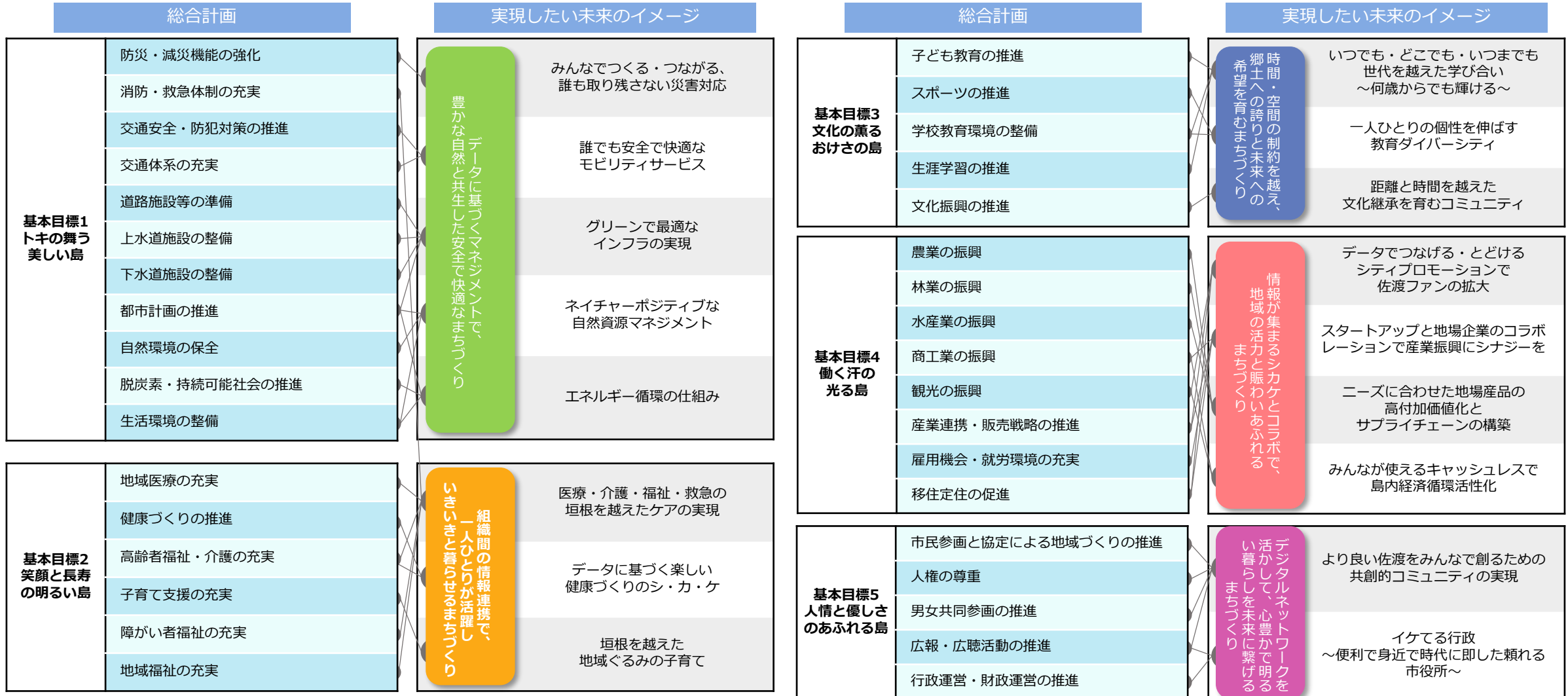


# 3章：デジタル活用施策

# デジタル活用施策体系図



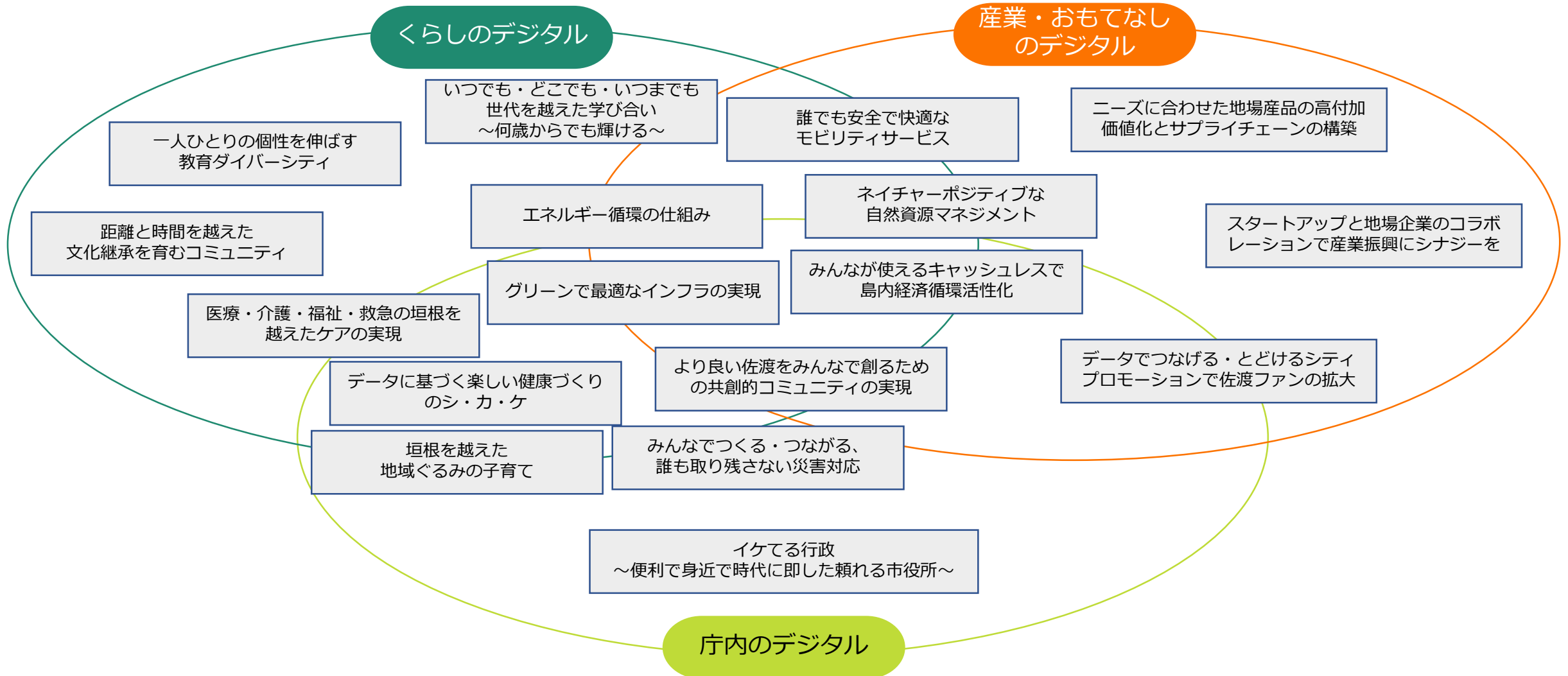
総合計画における施策とデジタル活用により実現したい未来のイメージ、及びデジタル活用施策の関係を示します。



# くらし、産業・おもてなし、庁内のデジタル化との関係



デジタル化推進計画にて、検討を行ってきた各カテゴリとの対応関係は、以下の通りとなります。







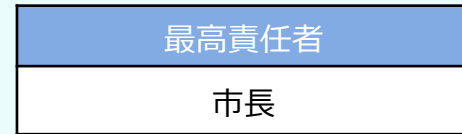
# 4章：デジタル活用推進体制

# デジタル活用推進体制



佐渡市のデジタル化構想、計画の実行にあたっては、市長を最高責任者、副市長を最高情報責任者とし、ビジョンの実現に向けて各担当課が責任を持って推進する体制とします。

## 佐渡市デジタル活用推進体制



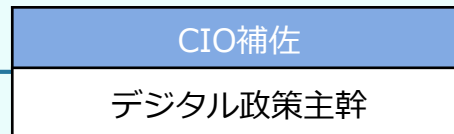
**最高責任者**  
市長

佐渡市のデジタル活用に関する最高責任者。  
市が目指す方向性を示すとともに、ビジョン・計画策定、及び実行などデジタル政策推進にて行う活動、成果物、予算の最終決定・承認を行う。



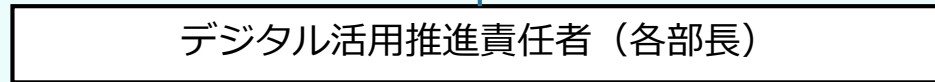
**CIO**  
副市長

佐渡市のデジタル活用推進に関する戦略と調達マネジメントに関する責任と権限を有する。策定したビジョンや基本方針に沿い、有効な調達の予算査定及びマネジメントを一括して行う。



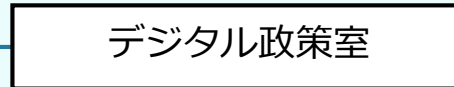
**CIO補佐**  
デジタル政策主幹

佐渡市のデジタル活用推進に関するビジョン及び計画の策定における方針明確化、計画のとりまとめを行う。CIOの担務に関する助言・支援を行う。各種外部組織等に参画し、全体ビジョンとの整合性を取りながら、意見・助言・調整を行う。



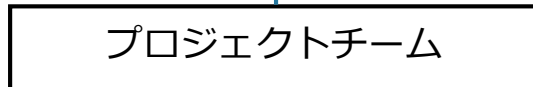
**デジタル活用推進責任者 (各部長)**

庁内の意思決定や部門間での調整を行うとともに、デジタル化構想・計画を実行していく上で、担当部門の実行責任を負う。



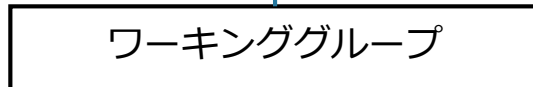
**デジタル政策室**

佐渡市のデジタル活用推進に関するビジョン及び計画の策定をマネジメントする。懇談会の運営、連携部門、各種関連コンソーシアム等との実務レベルでの調整を行うとともに、庁内各セクションの取組に関する技術的な助言や推進を支援する。



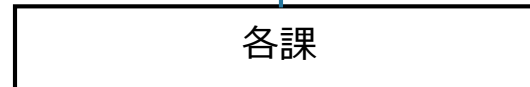
**プロジェクトチーム**

佐渡市のデジタル化構想・計画を実行していく上で、庁内横ぐしで実行するプロジェクトについて、個別にチームを立ち上げ、推進する。



**ワーキンググループ**

佐渡市のデジタル化構想・計画を実行するにあたり、短期的に検討・調査を行うための庁内横串のグループを立ち上げ、推進する。  
(例：デジタルリーダーの取組みなど)



**各課**

デジタル化構想の実現に向けて、実行計画の策定や計画の実行を行う。

# 佐渡市デジタル化推進検討懇談会

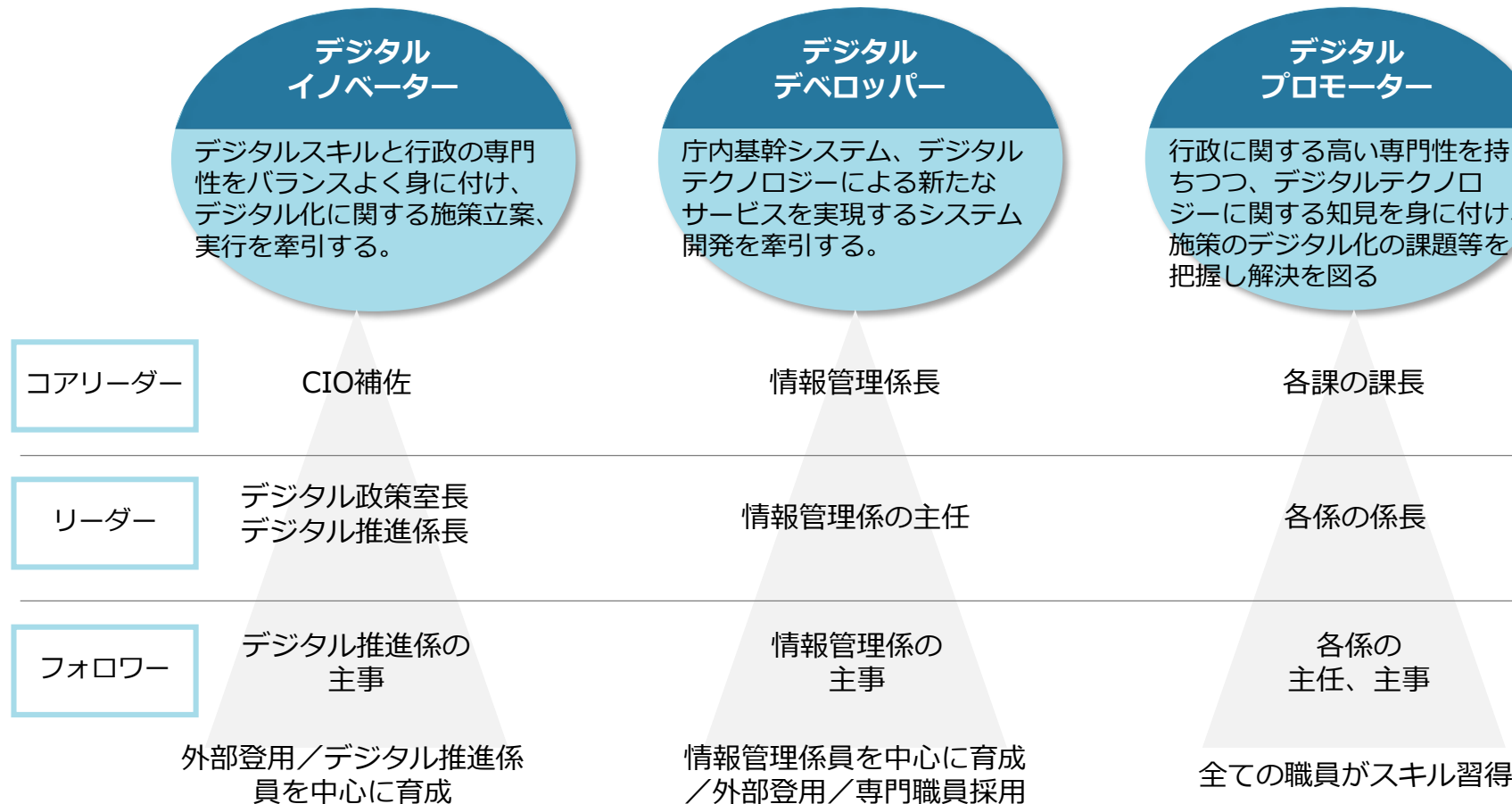
本市において、デジタル社会の構築に向けた取組を迅速かつ着実に進めていくため、基本の方針及び具体的取組を示す「佐渡市デジタル化構想・計画」の策定にあたり、広く有識者等から意見、助言等を求めることを目的に「佐渡市デジタル化推進検討懇談会」を設置しています。



# デジタル人材の育成の考え方



進展のスピードが極めて速いデジタル技術を活用し、地域課題の解決や行政サービスの効率化・高度化を図るためには、すべての行政職員が変革意識を持ちながら、デジタル技術を使いこなすことができるようになる必要があります。本市では3つのカテゴリにおいて、デジタル活用を推進するための人材の育成・確保に努めます。



## 育成・確保の考え方

デジタルイノベーター	デジタルデベロッパー	デジタルプロモーター
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化構想の実現、デジタル化計画を実行しながら、デジタル化推進スキルを身に付ける。</li> <li>外部のセミナー・研修を受講し、デジタル化推進スキルを習得する。</li> <li>資格取得によりデジタルテクノロジーの専門知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化構想・計画の推進と連動した現行システムの改修や新規システム開発に参画しながら、デジタルシステムの実現スキルを身に付ける。</li> <li>外部のセミナー・研修を受講、資格取得によりデジタルテクノロジーの専門知識を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化構想の実現、デジタル化計画の実行にあたり、関係する政策に参画し、デジタル化に関するリテラシーを身に付ける。</li> <li>外部のセミナー・研修を受講、資格取得によりデジタルテクノロジーの基礎知識を習得する。</li> </ul>



<https://www.city.sado.niigata.jp/>



### 3 議事

#### 2) その他

- ① 令和5年度の懇談会について
- ② 令和5年度の主な事業について

## 2) その他

### ①令和5年度の懇談会について



No.	日時	内容	
1	4月上旬	庁内体制において「佐渡市デジタル化構想（案）」の策定	
2	4月10日	「佐渡市デジタル化構想（案）」のパブリックコメント開始	
3	5月10日	「佐渡市デジタル化構想（案）」のパブリックコメント終了	
4	5月中旬	庁内体制において「佐渡市デジタル化構想」の策定	
5	6月上旬	「佐渡市デジタル化構想」にロードマップを掲載し、アップデート。	
6	6月中旬	議会（総務文教常任委員会）にアップデート後の「佐渡市デジタル化構想」の報告	
7	6月下旬	アップデート後の「佐渡市デジタル化構想」の報告	<b>第1回懇談会（議会終了後）</b>

このほか、「デジタル化構想」に基づく「デジタル化計画」の策定。「デジタル化構想」の市民への周知が大きなミッションとなります。特に、市民への周知につきましては、懇談会の皆さまからもお知恵をお借りしたく、妙案がございましたらお知らせください。

## 2) その他

### ②令和5年度の主な事業について



# 新庁舎窓口サクサク大作戦事業 STEP1

～まずは異動で書かせない窓口～



# 新庁舎窓口サクサク大作戦事業 STEP1

～まずは異動で書かせない窓口～



予算要求額	33,540千円	※3年分のランニング経費（6,062千円）込		
事業実施年度	R5年度（単年）			
財源	デジタル田園都市国家構想交付金 デジタル実装タイプTYPE1	補助率	1/2	
関係課	市民課、総合政策課（新庁舎建設係）、他窓口課			

## ● 事業概要

### □ 目的・内容

- 佐渡市役所は「書かせない窓口」づくりを目指し、窓口サービスの最適化により市民サービスの向上を図る
- 新庁舎建設に合わせ「書かせない窓口」のファーストステップとして、異動受付支援システムを導入する

### □ 背景・現状・課題

- 一般的な子育て世帯が佐渡市へ転入手続きを実施した場合 ※R4.10 窓口体験(庁内BPR研修)実施結果より
  - ・ 所要時間 : 約1時間半
  - ・ 記入書類枚数 : 10枚（氏名24か所記入、住所14か所記入）
- 年間240～490時間の窓口対応時間削減 ※転入971件/年、1件当たり15～30分の削減

### □ 期待される効果・関連事業との相互作用効果

- OCR等による個人情報の読み込みにより、市民は届出内容の確認と署名のみで手続き完了（**窓口サービス向上**）
- 新庁舎建設予算で導入予定の窓口発券システムと合わせて導入することで、最適な市民の窓口動線を検討できる
- **標準化対応後**、住民記録システムとデータ連携させることで職員の入力負荷軽減（**STEP2：職員の業務効率化**）

KPI	R5年度	R6年度	R7年度
一般的な子育て世代が異動手続きを実施する際の窓口滞在時間/件	-15分	-20分	-20分

## 2) その他

### ②令和5年度の主な事業について



いつでもどこでも誰でも行政手続できますよ事業

# いつでもどこでも誰でも行政手続きできますよ事業



予算要求額	5,303千円			KPI	R5年度	R6年度	R7年度
事業実施年度	R5年度（単年）			行政手続きがオンライン化される割合 （電子申請手続き数／全体の申請手続き数）	30%	50%	70%
財源	デジタル田園都市国家構想交付金 デジタル実装タイプTYPE1	補助率	1/2				
関係部署	広報広聴係、防災課、市民課、子ども若者課、建設課、交通政策課 など			佐渡市LINE公式アカウント友だち登録者数	7,500人	10,000人	13,000人

## ● 背景（現状・課題）

- 市民にとって行政が身近な存在であり続けたい。
- 現状は、多くの市民に対する行政情報が効果的・効率的に配信できていない（防災ラジオは防災関連情報のみ、災害対策メールは登録制、LINE公式アカウントは効果的な利用がされていない）。また、これまで対面にて行ってきた行政手続は、令和4年11月現在、オンライン化されていない。
- このため、市民に対しパーソナライズされた行政情報の配信を実現するとともに、時間・場所を問わず多くの市民が行政手続を行える仕組みが必要である。市民向けに佐渡市が独自にスマホアプリや電子申請システムを開発・運営することも可能であるが、そのためには多大なコストが見込まれる。また、高い利用率を実現するためには、市民にとって身近に感じられ、統一的に利用可能なシステムが求められる。

## ● 事業概要

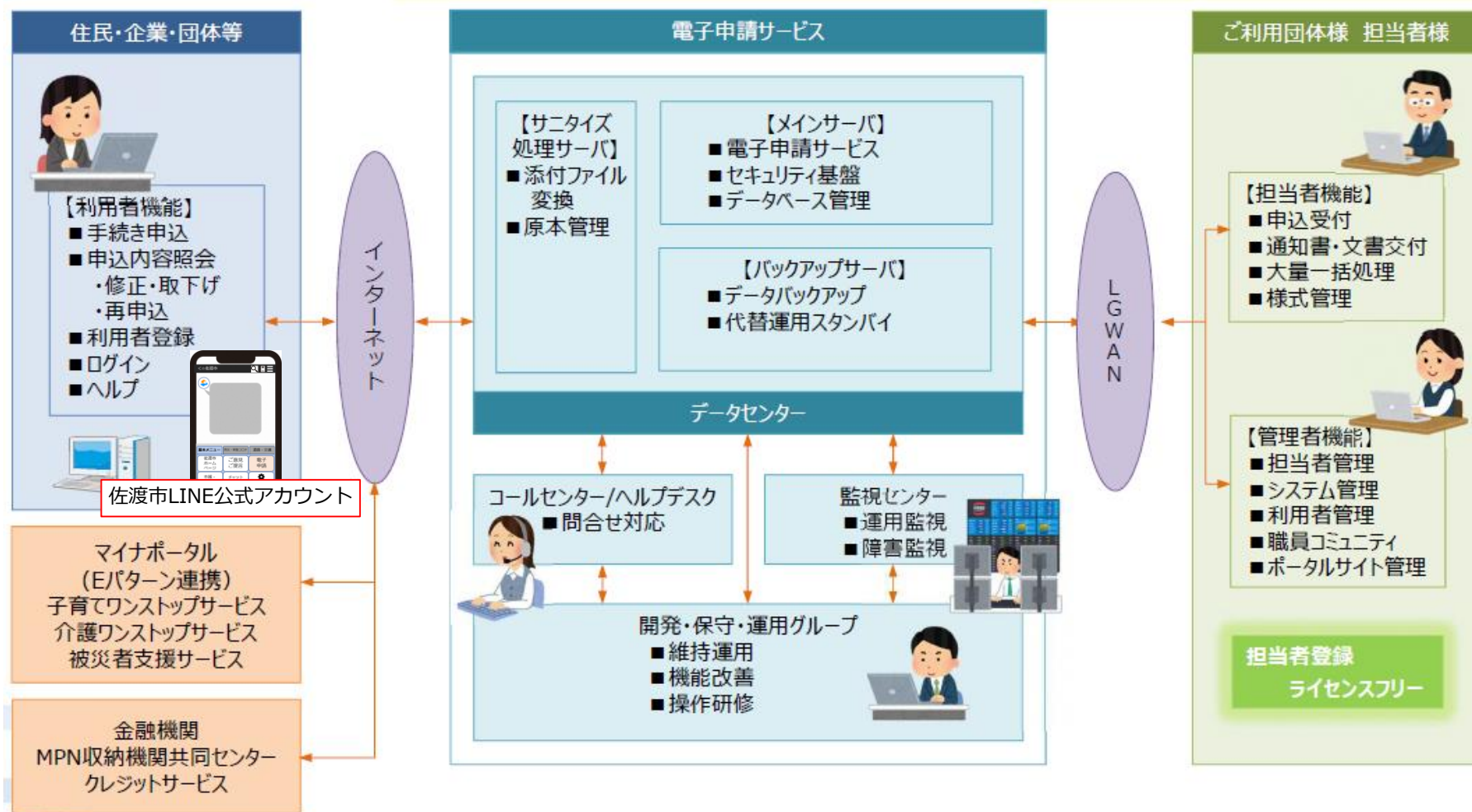
- 目的
  - 時間・場所を問わず、多くの市民から身近なLINEを入り口として行政手続の電子申請が行える仕組みを実現する。
  - パーソナライズされた行政情報の配信等、市民と行政の間をデジタルで身近に、豊かで安全安心な暮らしに寄与する。
- 事業内容
  - 電子申請システムを導入し、佐渡市におけるすべての行政手続をオンライン化する。
  - 多くの市民に身近なスマホアプリ（LINE）を入口として、時間・場所を問わずに行政手続の電子申請ができる仕組みを実現する。
  - セグメント配信を活用することによってパーソナライズされた行政情報を配信する。

# いつでもどこでも誰でも行政手続きできますよ事業



## ● その他

### □ 実現イメージ



佐渡市LINE公式アカウントのイメージ

基本メニュー





## 4 CIOあいさつ（副市長 伊貝 秀一）



## 5 閉会（榎 崇斗 副座長）



<https://www.city.sado.niigata.jp/>